

「おもいきり遊ぼう！」

福島から7時間かけてやつてきました

「こままわし、できるようになったよ！」

コマまわしの名人、たつ君(杉並コマ回しの会代表)が、それぞれ材質の違うさまざまなコマを、リュックに背負っていっぱい持ってきてくれました。細い紐を張って空中でコマを回したりする36才のたつ君は、たちまち子どもたちのヒーローに。

子どもたちは夢中になって何度も何度も挑戦し、とうとうコマを回せるようになりました。この集中力、ものになるかも。いい顔してたよ。



「ネ、ネ、聞いて、聞いて」福島のママたちと井戸端会議
雨が上がって少し涼しくなりました。福島の若いママたちと親子ほど年の離れたスタッフが、いつの間にか芝生の上に腰をおろし輪になって、井戸端会議を始めました。
「ネ、ネ、聞いて、聞いて」福島のママたちは、怒りでいっぱい、不安でいっぱいの胸の内をたくさん話してくれました。

★こんな話がありました(小学2年生のママ)

6月に実施された小学校の運動会は朝9時～夕方4時30分まで、校庭に出っぱなしで、お弁当も校庭で食べる家族がほとんどでした。砂ぼこりがまう中、校庭の線量は、0.2～0.3m/sでした。マスクは一人もしていませんでした。

6月にプール開きがあり、「入らないと成績に影響する」との手紙が学校からきました。ほとんどの子どもが入っています。日々の生活に気を使うことに疲れました。

「部屋での交流」



交流…ずっと友だち…。同じ部屋になったけど、ちょっと緊張気味の中学生。宿題をやりだすとやっぱり悩みは同じ。教え合っているうちにたちまち打ちとけてトランプで盛り上がり、最後の夜は住所交換。「お手紙だすね」約束守っているかな?



「雨の富士五合目」



「五合目は、思ったより肌寒くて人がいっぱいなのでびっくりしました。
富士山が一瞬見えたのでよかった！」
「富士山というと登山の格好をしている人が多いと思ったけど、みんな普通の格好をしていて、ビーサンの人もいたのでびっくり！」
「天気が悪くて残念でしたが、初!!富士山見えてよかったです」（感想より）
お子さんをずっと肩車のお父さん、おつかれさま！

「おもいきり遊んだよ！楽しかったよ。」



開園式から、くるくる金魚で子どもたちの目を引き付けた現職図工の先生のMさん、3.11以前に集めた「安全な」どんぐりや木の実などを沢山持参した元児童館職員のSさん、親子で作ったよ！遊んだよ！

子どもたちの第一声
「ここではマスクをしなくてもいいんだよね！」



「芝生での交流」



「生まれて初めてお外を歩いたよ！」

「はだしで気持ちいいよ～」
「娘は生まれて初めてこんなに長い時間外で過ごすことができました。8か月のときに震災があり、歩けるようになってからは、外で過ごす時間はほとんどありませんでした。
心おきなく外遊びをしている表情はとてもいいですね。福島ではまた家の中のみで過ごしています。外に出たがりますが…。
(福島に帰ったお母さんから手紙がきました)



「ひげのおじさんと作ったよ！」

ひげのおじさん(元図工の先生)と作ったよ！おや、このおじさんは誰？事務局長さんでした。
キュッキュッと鳴らして鳥を呼ぶバードコール
学園の林で集めた木の枝で、ヘビのマリオネット



「100本のトウモロコシをゆでた」



安心して食べたよ!! 村長さんからのプレゼント
プロジェクト事務局は、下見時に忍野村役場を訪ね、ご挨拶しました。村長さんは不在でしたが、トウモロコシ100本のプレゼントが当日の朝届きました。

「家の周囲には野菜はいっぱいあるのに、放射能の不安があり子どもには食べさせられず県外の高いものを買っているので、こんなにたくさんのトウモロコシを見たのは初めて…」
と感激のお母さん。親子で楽しそうに皮むきをしました。

「みんな輪になって、うたつたよ！おどつたよ！」

「一番やりたいのが花火、その次がスイカ割り。
その次はひろ～い公園でいっぱいブランコ乗りたい」
おばあちゃんが持たせてくれた大きな花火の袋を大事そうに抱えていた女の子。「花火買ってきてよかったです！」



“流れ星見つけたよ”暗い空に突然現れた火の鳥のような赤い流星、お願いが叶いますようにと手を合わせる間もなく闇のかなたへ…！
流れ星がいっぱい！—キャンプファイヤー。
花火たくさん！一番やりたかったのは花火！たくさん持てて来たよ。